

柳城

R y u j i o

柳城学院報

第64号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：渋澤 一郎

2019年8月1日



柳城キャンパス 2020年3月完成予想図

建学の精神

「愛をもって仕えよ」

目次

理事長からのメッセージ	2
学長からのメッセージ	3
四年制大学の設置に向けて	4
柳城のクラブ・サークル紹介	4
豊田幼稚園新園舎 落成式	5
キャンパス整備Ⅱ期工事	5
高大連携協定	6
夢ゼミ	6
立教大学とのチャペル間交流	7
聖書のことば	7
幼児教育研究所	8
附属柳城幼稚園	9
附属豊田幼稚園	10
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	11
同窓会 News	12
後援会 News	12
2018年度会計報告	13
2018年度就職状況	14
2019年度入試結果	14
2020年度入試概要	15
学院人事／理事・監事・評議員	15
新任教職員紹介	16
マーガレット・ヤング基金	17
オープンキャンパス情報	18
附属幼稚園情報	18
学院報Webバックナンバーのご紹介	18

“百二十一年目を迎えた柳城： 大きな目標に向かって”

はじめに

学校法人柳城学院に関係

するすべての皆様の上に神様の祝福と御守りと導きをお祈りいたします。

柳城学院が今年創立121周年を迎えることができましたこと、神様に感謝し、皆様と共に喜び申し上げます。

創立者のマーガレット・ヤング先生は1895年（明治28）、カナダ聖公会の宣教師として来日されました。その3年後の1898年（明治31）、幼児教育者の養成を始めたのが柳城の創立になります。当初、ヤング先生が宣教師として来日されたのは幼児教育に携わるためではなかったようです。名古屋には1888年（明治21）にやはりカナダからJ.C.ロビンソン司祭が宣教師として来られ、宣教活動をしてられましたので、ロビンソン司祭の働きに協力するため、殊に、1891年（明治24）に発生した濃尾地震の救済活動に協力するために来日された

のではないかと推測されます。

幼児教育への道

なぜヤング先生が幼児教育者の養成に進もうとされたのかは、その直接的な動機について先生が書かれたものが見当たりませんので正確には分かりません。しかし、当時の日本における女性と子供たちに対する教育の低さを強く感じながらに違いありません。柳城の研究紀要第21号（1999年度）にはヤング先生の書簡が掲載されていますが、その中で先生は、「私の同情は女性と子どもたちに一層注がれます。人生は彼らにとつてほとんど意味を持っていないように思われます」（菊地訳）と書いています。

当時の女性や子どもたちにとって人生がほとんど意味を持たなかったとは一概には言えないでしょうが、ヤング先生の目にはそう映ったのでしょうか。女性や子どもたちにより良い教育の機会が提供され、その結果、自立し、成熟

した人間として生きて行ってほしいというのがヤング先生の思いではなかったかと想像するのです。そのような動機から柳城は誕生しました。

キリスト教精神によって

改めて申し上げるまでもなく、柳城学院のすべての働きはキリスト教精神をその背景に持っています。「キリスト教精神」とは何でしょうか。“これがそうだ”と決まったものではありません。しかし、わたしはその意味するものが二つあると思っています。

一つはわたしたちが神の前で謙虚であるということです。自分を絶対化としないと言ってもいいでしょう。たとえ神の存在を信じない人でも、自分たちが何か大きなものによって動かされていると感じる時があるのではないのでしょうか。キリスト教ではその存在を神と言います。柳城の働きが神の意思によって始められ、導かれていくのだと受けとめる時、わたした

ちは自分を絶対化せず、自ずと神の前に謙虚になり、子どもたちからも学ぶという姿勢が生まれて来るとは思います。幼児の教育・保育に携わる者はその姿勢を持ちたいものです。

二つ目はイエス・キリストの心を自分の心として教育に当たるということです。イエス・キリストの生涯は徹底して小さい者、弱い者の側に立たれたものであったと言っているでしょう。女性や子どもたちは当時の社会では極めて弱く、小さな存在でした。しかし、キリストはそれらの人々を愛し、受け入れました。罪を犯した者にも、その罪を裁くのではなく、赦す姿勢を常に持たれました。キリストの心を持つということは小さい者、弱い者を大切にし、受け入れ、仕えていくということだと思います。これも幼児教育・保育者にとつて

理事長 洪澤 一郎

求められる大事な資質です。

ヤング先生が女性と子どもたちへの教育に思いを馳せたのもイエス・キリストのそのような心をご自分の中に感じたからに違いありません。

おわりに

柳城学院は創立121年目を迎える大きな転換期を迎えています。四年制大学の実現も視野に入ってきました。環境の整備も整ってきました。柳城は短期大学と4年制大学を併設することにより、より充実した幼児教育・保育者の養成機関の実現を目指して新たなスタートを切って行きます。皆様のお祈りとご支援を心よりお願い申し上げます。



柳城学院の新たな歴史のために

2019年度重点計画

2

2019年は柳城学院にとつて新たな歴史に一步踏み出す年です。建学の精神「愛をもつて仕えよ」の原点に立ちつつ、将来に向かって地域社会や時代の要請に応え、より質の高い保育者の養成を目指します。

1. 名古屋柳城女子大学こども学部

(仮称・認可申請中)の新設

これまでの入学定員を見直し、2020年に定員70名の名古屋柳城女子大学こども学部(仮称)を新設します。短期大学保育科を130名、保育専攻科を15名(変更なし)とし、新しい保育者養成大学を目指します。4年制大学と短期大学の役割の違いはなにか、どんな大学を目指すのか、どんな保育者を養成するのかその理念を確立し、新たな保育者養成の教育の再スタートを目指します。

2. 大学および短期大学への

入学者の確保

名古屋柳城短期大学保育科の入学者は、ここ3年定員割れが続いています。2020年度、申請中

の4年制大学及び短期大学保育科、保育専攻科の入学者の定員確保を目指し全学をあげて入学者の確保に取り組みます。

オープンキャンパスや高校訪問、高大連携活動の推進、奨学金制度の充実等を図り入学者の確保に努めます。

3. 学生支援センターの確立

新しく学生支援課を設け、教職員一体となった学生支援センターにより、学習支援、実習支援、学生生活支援を行い、幼稚園教諭、保育士の資格を全員取得できるように学生を支援します。

建学の精神「愛をもって仕えよ」を自らの生き方とし、保育の現場において活躍できる人間力、実践力のある保育者を養成します。

障害のある子ども、外国人の子ども、保育など多様化する保育ニーズにこたえ、専門性の向上とともに、人間的な包容力と高い倫理観もった質の高い保育者の養成を目指します。

4. 魅力的なキャンパス整備の推進

2017年度、2018年度と学生食堂、ラーニングコモンズ、ロッカー室の新設、耐震工事など1号館、2号館のキャンパス整備を進めてきました。2019年度は、3階建て新5号館の建設、事務室・会議室の改修と配置の見直し、中庭の整備など4年制大学新設に備えた魅力的なキャンパスを実現します。

5. 子育て支援センターとして

地域社会への貢献

附属豊田幼稚園では新しいこども園舎を完成させ、幼保連携型認定こども園を2019年開設しました。附属幼稚園は遊びを中心とした質の高い幼児教育の維持に努めるとともに、地域から要望の強い0〜3歳児の保育、預かり保育等地域の子育て拠点として地域社会に貢献します。

また幼児教育研究所の機能をさらに充実・発展させ、キッズルームを活用し、0〜2歳児のためのすくすく広場、赤ちゃん教室や母

親教室の開催、紙芝居や本の読み聞かせ教室など、名古屋市、昭和三区など地域社会と協力した子育て支援活動を実施します。

6. 柳城学院の新しい時代を

構築する中長期計画の策定

初心に帰り建学の精神「愛をもって仕えよ」を学ぶとともに、これからの時代を展望し、現代社会が要求する質の高い保育者養成校としてのブランドイメージを構築します。柳城学院のこれからの10年間を見通し、新しい歴史を開く中長期計画を策定します。2019年〜2023年の5か年を第1期とし、大きな方向付けと基盤整備の期間とし、2024年以降の5か年を第2期とし、柳城学院の地域での役割を盤石にし、将来に向かって充実した活動を行う期間とします。

学長 長縄 年延

7. 新しい教職員体制の確立、

業務の効率的運用、経費の節減
理事会、運営委員会の組織をより充実し、柳城学院におけるガバナンスを確立します。文科省が進める「修学支援制度」「私立大学等改革総合支援事業」に対応できる時代に即した大学機能を確立します。

新5号館の建設により、新しい学生支援センターを作り、学生目線に立った学習支援、学生生活支援、就職支援のサービスを充実します。学内ネットワークを活用し、情報の共有を進め、各種委員会、会議などより効率的で効果的な運用を実施します。



四年制大学の設置に向けて

(法人事務局長 山本 將)

四年制大学の必要性

120年の歴史を持つ柳城学院は、今日までに多くの保育・幼児教育の人材を社会に送り出してきました。柳城保姆養成所の時代を含めると、保育者養成機関としては、国内で3番目に長い伝統を持っており、また、現在、愛知県内において、規模の大きな保育士・幼稚園教諭養成機関の一つとなっています。そして、地域の保育・幼児教育を支えてきたこれまでの実績に対して、現場から高い評価と信頼を得ています。

しかし、今日、就学前の教育や保育への社会のニーズは多様化・複雑化しています。保育者には、乳幼児期から児童期・青年期を見通した人間の発達への深い理解にもとづく高度な専門性と、幅広い社会的視野が求められています。

また、変化の著しい今日の

社会においては、保育者には、単に高い専門性だけでなく、かけがえのないいのちを預かる者としての使命感と包容力のある暖かい人間性が重要であり、一人一人の子どもを受けとめる柔軟性や自ら保育を開発していくことのできる創造力も必要です。これらのことは、キリスト教精神に基づいて養成教育を行う本学院にとって、

取り組むべき重要な課題です。

こうした理由により、本学院としては、これまでの伝統と実績の上に、多文化共生保育なども含む、新たな視点から教育課程を編成し、四年制での保育者養成に取り組みたいと考えています。

少子化にもかかわらず、保育のニーズは増大しており、保育者は不足しています。したがって、短期大学での保育者養成の社会的な使命はこれまでと同様に大きいと思います。しかし一方において、4年間に及ぶ保育者の養成教育が必要であり、四年制大学を現在のキャンパスに併設したいと考えて

います。

名古屋柳城女子大学（仮称）の設置認可申請

本学院は昨年の10月末に、2020年4月の開設を目指して「名古屋柳城女子大学（仮称）」の設置認可申請を文部科学省にいたしました。

名古屋柳城女子大学（仮称）は、「愛をもつて仕えよ」という名古屋柳城短期大学の建学の精神を継承しつつ、「人びとと共に生き、人びとに使える」心を持った人間の育成を建学の精神としています。入学定員は70名、収容定員は280名を予定しています。

現在、設置認可申請中であり内容が変



更される場合もありますが、すでにキャンパス全体の整備が進んでおり、大学のための新校舎も建設中です。もちろん、教育内容・教授陣についても準備が進んでいます。

認可をいただくため、教職員が学外の先生方の協力も得ながら、様々な準備にあたっております。地域になくはならない大学として開学できるよう、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

柳城のクラブ・サークル紹介

保育者を目指す柳城生にとって保育の知識・実践力の修得が最も重要であることは言うまでもありません。一方で、一生に一度しかない青春時代を有意義に過ごしてもらうための経験も大切だと考えます。柳城は学修に忙しい中においても、人としての幅を広げ、更に学生生活を充実させるためのクラブ・サークル活動を応援しています。

伝統的に引き継がれているものもありますが、毎年新しいクラブ・サークルも作られています。今後益々活動が活発となるよう、学生生活委員会・学生支援課が中心となり、「あなたの『やりたい！』応援します」をキャッチフレーズに、学生サポートに努めてまいります。



豊田幼稚園新園舎 落成式



6月8日(土)午後、内外からのお客様56名、年長の子どもたちとご家族約170名、教職員20名の約250名が、新しい「なでしこホール」に集まり、落成式を行いました。渋澤理事長(主教)、箭野チャプレン、中尾司祭によって進められた礼拝では、「主の平和

がこのことも園にありますように」「この新しい園舎で献げる私たちの働きを祝福してください」との祈りを参加者一同と共に行いました。設計監理者の中建設計様、施工者の太啓建設様に、渋澤理事長から感謝状の贈呈が行われ、足かけ3年にもわたる工事期間中、安全

が守られたことへの感謝も述べられました。加藤園長の感謝の言葉の中では、ステンドグラス制作者の岡田慶子さんの紹介があり、「なでしこホール」から園児と教職員を見守る新しいシンボルを仰ぎ見ました。また年長の子どもたちが歌を2曲歌って、新しいスター



トに花を添え、最後は参加者全員で園歌を歌い、新しい園舎の完成をお祝いしました。子どもたちの「新しい幼稚園を作ってくれてありがとう」との明快な言葉が印象的でした。(加藤 明宏 園長)

キャンパス整備Ⅱ期工事

昨年発行の学院報「柳城」第63号で、キャンパス整備Ⅰ期工事のカフェ棟建設が報告されておりました。今回の「柳城」第64号ではキャンパス整備Ⅱ期工事の概要をお伝えいたします。

柳城学院報第63号で長縄学長が述べられている、四年制大学新設と魅力的なキャンパス整備の推進に沿い、Ⅰ期工事で既設2号館に接続したカフェ棟の設置を行いました。これに続き、Ⅱ期工事ではロータリーの北東に5号館を設置するのと、既設1、2、3号館の改修を行います。

Ⅱ期工事の基本工程は2019年1月から3月で既設1号館の3階建て部分(旧館)の耐震補強工事と外壁改修工事を終了した後、介護実習室のロッカー室化、既設1号館5階建て部分の2階第1特別研究室と第2特別研究室を可動間仕切りで仕切った会議室化、1階会議室と事務室を一体化した事務室化を5月現在進めています。

6月10日から6月21日の間で仮設のロッカー棟とその基礎を解体します。また、7、8月で3階35教室の可動間仕切りによる2教室化と研究室の改修を行い、2020年1〜3月間で4階42教室の可動間仕切りによる2教室化と3階の研究室改修、既設3号館の3階教室の改修を行います。2019年7月から新5号館の基礎工事を開始し、2019年12月には建屋が完成し、2020年3月中旬には外構工事を終了し全工程を終了する予定です。

新5号館の概要は、延べ床面積が579.68㎡の3階建て鉄骨造りで、1階に事務室と警備室を、2、3階にスライディングウォールで仕切られる教室を各2部屋設置します。外壁はALCの下地にモザイクタイルを貼り付けたものになります。以上が改修の概要です。

(総務課)

名古屋大谷高等学校並びに 豊田大谷高等学校との高大連携協定を 締結しました。

5月22日、本学にとつて初めての高大連携協定締結となる協定書の調印式が行われました。式は午前の名古屋大谷高校が、改装された1号館2階の会議室で、梶浦校長先生をはじめとする教職員の皆様、午後からの豊田大谷高校は、



カフェ棟2階のラーニングコモンズで、加藤校長先生をはじめとする教職員の皆様に加え、柳城見学バスツアーに参加の保護者の皆様にもご出席いただきました。本学からは長縄学長、菊地副学長をはじめ教職員が多数出席し、無事終えることが出来ました。

この高大連携協定は、昨年8月に行われた本学主催の「Ryujou Dream Program」に両校の生徒が参加したことがきっかけとなりました。このプログラムは2日間で行われ、1日目が柳城での実技講義受講（絵本の読み聞かせの講義と演習）、2日目が附属幼稚園での実習体験（1日目の学びを生かして子どもたちの前で絵本の読み聞かせ）を行い、参加した生徒から大好評でした

今後、高校への出張講義、大学祭などでの学生と生徒の交流、柳城施設の使用、附属幼稚園での体験実習、教職員の合同研修等々連携協力の幅を広げていきます。この連携を通じて双方の教育の充実と発展に繋がることを期待しています。

夢ゼミ

学外合同ゼミナール「通称夢ゼミ」は、本学に入学した1年生を歓迎する大学行事の一つです。この夢ゼミは、全ての学生が実り多い大学生活を送るための仲間づくりと、大学における学びの深化の方向性を探ることを目的としています。この行事を開催するにあたり、実行委員の学生は立候補により選出され、その委員を中心に一泊二日の企画が実施されました。

保育園の園長先生による講演を視聴後の学生の感想では、「こどもの声なき行動の意味や理

解、保育者の対応の仕方など、保育者の思い込みの対応ではなく、子どもの「心の声」をゆっくり聴くことの大切さを学びました。」という感想が多数レポートに書かれていました。

ゼミ対抗戦として企画された「砂の造形」や「大運動会」では、1・2年生合同で力を合わせて競いあいました。特に大運動会では、ゼミ担当教員も参加し、各ゼミで作成したユニホームを着用して学生と教員が一致団結して凌ぎを削っている姿は、本学の教員と学生の絆の強さや信頼関係を実感することができました。1日目の夜の行事「新入生歓迎会」は、学生会が企画行われました。各クラスの出し物には短期間ながら工夫を凝らしており、2年生や保育科専攻生が、1年生を心より歓迎していることがよく表現されていました。

学生会の活躍、常に心を配りサポートをしていた保育科専攻生の力により「夢ゼミ」は成功することができました。学生の頑張りには感謝です。

(学生生活委員会 山脇 真弓)



全日程を通して、学外合同ゼミ委員や



立教大学とのチャペル間交流

東日本大震災から8年が経った2019年3月11日、柳城キリスト教センターでは学生4名と、教職員2名が、東京都豊島区の立教大学池袋キャンパスのチャペルを訪れました。この訪問には2つの目的がありました。1つは、立教大学のチャペル「立教学院諸聖徒礼拝堂」の特別礼拝「東日本大震災 8周年記念の祈り―同じ時 想いを一つに 皆で祈りを―」に出席し、東日本大震災で被災された方々を覚えて祈りの時をもつことです。もう1つの目的は、名古屋柳城短期大学と同じ日本聖公会に連なる立教大学とのあいだで、両大学のチャペルが窓口となって学生間交流の端緒を開くことです。礼拝では、この訪問をきっかけに両大学のチャペル間交流がより豊かなものになることを願って、静かな祈りの時をもちました。素晴らしいパイプ・オルガンの奏楽とハンドベルの生演奏が礼拝を彩って、深い印象を残しました。

礼拝での中川英樹チャプレンのお話は、被災者支援のあり方を示す思慮に満ちた内容でした。被災者ではない私たちができる支援の基本は「相手にとって嫌なことはしない」ということだ、ということが、社会の中で弱い立場に置かれ小さくされた人の側にいつも身を置いていたイエス様の姿に照らしながら語られました。

今回立教大学チャペルを訪問した学生たちは、全員が柳城の被災者支援ボランティアのサークル「チーム・パティシエ」のメンバーで、毎月、被災地の福島県新地町で開かれている茶話会に手作りのケーキを送るといふ活動を続けています。茶話会に集う方々からは、温かいお礼の言葉が綴られた葉書が毎月とどきます。このケーキ・ボランティアの活動を続けてきた学生たちは、礼拝のあとで「相手が喜んでいることが確認できて初めて支援になるということがかかった。喜んでくださる相手がいらいらっしゃるかぎり続けていこうという強い気持ちを抱いた」と話していました。

(キリスト教センター 村田康常)



聖書のこゝとば

人の口は、

心からあふれ出ることを語るのである。

(ルカによる福音書第6章45節)



人の口から出る言葉はその人の品格を表わします。口から出る言葉によって、その人がどのような人なのかを伺い知ることができると言われます。口から出る言葉が人を奮い立たせ

たり、倒れさせたりもします。励まされ、力づけられ、やる気を起こさせる言葉がある反面、心を悲しませ、傷つけ、生きる気力さえ失わせるような言葉もあります。

わたしたちは仲間や友人と一緒にいる時、どんなことが話題になりますか。人のうわさ話で大いに盛り上がることもあるでしょう。しかもその内容と言えば、人の悪口、批判など、どちらかと言えば聞くに堪えないものが多くあるかもしれません。わたしのほうを見ながら、何人かの友人が笑いながら話をしている様子に、「ひょっとしたらあの人たち、わたしの悪口を話題にしているのではないかしら」と少し不安を感じたことはありませんか。

先日、地下鉄で座っているわたしの前で、2人の大学生くらいの女性が話している声が聞こえてきました。「今朝、A

さんに会った時、あまり顔色が良くなく、どことなく元気もなさそうだったので、大丈夫？無理しないでね。わたしに何かお手伝いできることがあったら遠慮なく言ってねって声をかけたの。そうしたらAさん、嬉しそうな顔をして、ありがとう、そんなにもわたしのこと、心にかけてくれてと返事してきたの。」「すごいわねー、あなたは！もし、わたしだったら、そんな対応はきつとできなかったと思うわ。わたしもあなたに見習って、これから勇気をもって行動しなくちゃー」

そんなやりとりを聞いていて、あの2人の間には暖かな心が通い合っているのだなーと思いました。

福音書に出て来るイエスさまの言葉は、いつも人の心を励まし、奮い立たせ、生き生きとさせます。なぜなら、そこには人の思いをはるかに超えた神さまの愛が根底にあり、一つ一つの言葉の中に、神さまの愛のリアリティーがあふれ出ているからにはかたがたありません。

「言の内に命があった。…言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。」

(ヨハネ1:4, 14)

(チャプレン 主教 大西 修)

幼児教育研究所

子育て支援活動「すくすく広場」が

三年目を迎えます

幼児教育研究所では、2017年度から、キッズルームを利用した子育て支援活動として「すくすく広場」をスタートしました。これは、大学としての地域貢献を目的とするとともに、学生の学修の深まりや広がりにつなげることを目指しています。2018年2月にキッズルームを改装しました。今まで廊下の向かい側にあったスタッフルームとキッズルームが一体化し、入り口も大きくなり、より使いやすい場所になりました。



2018年度の活動としては、

2017年度より継続してキッズルームを自由開放する「すくすくタイム」(0・1歳児対象)を行い、保育を専門とする大学ならではの良質の遊具や玩具を用意し、親子で自由に遊べる場を提供しています。開放時間は本学卒業の専属スタッフが常駐し、時に絵本の読み聞かせや遊びの紹介なども行い、それを楽しみに参加される方もいらつしやいます。

親子が参加する講座としては、昭和生涯学習センターとの共催講座『発見いっぱい 1歳児の成長』を実施し、12組の親子を対象に5回の講座を行いました。参加者からはためになる話を聞くことができた、手遊びや歌のコナーがあるので子どもも楽しめたなど声がありました。本学主催の「子育て支援講座」も後期に行っています。0歳児対象の「にこにこクラス」、1歳児対象の「わいわいクラス」を、それぞれ4〜5回の連続講座として開催しました。本学教員が2年生のゼミ学生と協力して作り上げる講座の中

で、保護者同士の交流促進も図っています。先の「すくすくタイム」や「子育て支援講座」でも、これらに学生が携わることで、子どもや保護者と直接触れ合う貴重な機会が得られ、多くの学びや気づきを得ることができています。また、子どもの姿が日常的に身近で見られる環境そのものが、本学の学生にとって有意義なものとなっています。

2018年度からは「すくすくタイム」の開放曜日を増やし、時間もお昼過ぎまで利用できるようにしました。また、本学に新設されたカフェ棟1階の「キッチンほらべこ」を、すくすく広場の利用者の方にも開放しています。その結果利用者も増え、2018年度1年間でのべ1833組、3703名の親子に参加して頂きました。今年度からは、0歳児・1歳児の日を設定し、職員の配置や内容等も見直すなど「すくすく広場」が地域における子育て支援と保育者養成により一層寄与していけることを目指してまいります。また、学生の見学の機会を増やし、学生たちが気軽にキッズルームを訪れ、乳幼児と親子への学びを深められるような取り組みを考えていきたいと思っております。

柳城祭「キッズ紙芝居発表会」の実施と第1回公開講座の開催

これまで当研究所では、紙芝居の魅力を伝え、紙芝居を通して親子をはじめ人と人とのかわりを深めたいとの思いで、「手づくりキッズ紙芝居コンクール」を11年続けてきましたが、新たな試みを検討し2018年度は「キッズ紙芝居発表会」と題し、自作の紙芝居を楽しむ催しを計画しました。参加対象者も幼児から高校生までと幅を広げ、作品を募集し11月の柳城祭にて実施いたしました。当日、会場のラーニングコモンズで小学生が自作の紙芝居を披露し、保護者の方も多数ご来場いただき、紙芝居を楽しむ時間を過ごすことができました。学生たちも司会や会場の設定を手伝い、子どもたちが作る紙芝居の楽しさに触れる機会となりました。

また2018年度は、『あそんでまなぶ わたしとせかい 子どもの育ちと環境のひみつ』(2018年、株式会社みらい)の出版を記念して、鈴鹿短期大学名誉学長佐治晴夫先生、聖隷ク

リストファー大学准教授細田直哉先生、本学講師勝間田明子の共著者3名を講師に、第1回公開講座「『あそんでまなぶ わたしとせかい』に込めた願いと祈り ―子ども育ちと環境をみつめて―」を6月24日(日)に開催しました。子どもや自分自身の育ち、自分と世界/他者との関係についてご講演いただきました。本学学生や近隣の方だけでなく、遠方からの参加者も多数おられ、盛況のうちに終わることができました。今後は入試広報課との連携も検討してまいります。(野崎真琴・片山伸子)



附属柳城幼稚園



幼稚園創立120周年を迎えて

2019年度、柳城幼稚園は創立120周年を迎えました。短大から遅れること1年、長い歴史の1ページが新たに開かれました。

創立者マーガレット・ヤング先生の深い信仰と愛によって建てられたこの柳城幼稚園は、戦禍によつて焼失しながらも、子どもたちの為にその苦難の時代を乗り越え、今もここにこうして在ることの素晴らしさを思います。時折、人生の年輪を重ねたご高齢の方が、懐かしそうに幼稚園を眺めながら、「ここを卒園したんですよ」と訪ねてみえたり、「実は私もここを卒園したんです。」とお孫さんやお子さんを入園させて下さる方が今も後を絶ちません。自分が卒園した園が廃園となつてしまふこともけつして稀な事ではないことを思うと、何代にもわたつて園がこの地に在つて存続しつづける事は本当に凄いことだと思ひます。

何年にもわたつて子どもたちの為に尽力された諸先輩方に敬意を払わずにはいられませぬ。

昨年度末に送り出した卒園生の中にはなんと5代目の園児もいて、その長い歴史に幼稚園を支えてくださる保護者の方々の熱い思いには、感謝の気持ちでいっぱいです。時代は流れ世の中が変化しようとも、大切にすべきものを見失うことのないように、これからもその歩みを進めて参りたいと思ひます。



さて、今年度満三歳桃組は、4月始業式早々1名からスタートしました。1名では親子の様な関わりとなつてしまうので、担任と一緒にいろいろなクラスへ出向いて行きました。主に過ごした年少赤組でも全く臆することなく過ごしていたところに、なんだか怖いもの知らずの逞しさを感じました。一人ひとりと増えていく満三歳のクラス、その度ごとに変わるクラスの雰囲気、今年度もどんな1年間になるのかと楽しみであります。

から、「ここを卒園したんですよ」と訪ねてみえたり、「実は私もここを卒園したんです。」とお孫さんやお子さんを入園させて下さる方が今も後を絶ちません。自分が卒園した園が廃園となつてしまふこともけつして稀な事ではないことを思うと、何代にもわたつて園がこの地に在つて存続しつづける事は本当に凄いことだと思ひます。

ります。そして年少赤組は、32名からの少々大所帯でのスタートでした。大所帯の割には、まとまりがあり、担任の一斉の声掛けにもちゃんと反応して、興味津々意欲的に活動していた4月当初から、それぞれが興味関心に従つて活発に活動していくようになると、果たしてどんな様子になつていくのでしょうか。そして年中黄組は、なぜだかずっと少人数の学年で、こじんまりと過ごしているのです

が、いろいろなことが出来るようになり自信をつけてきた面々が、自分より小さなお友だちを助けたりする姿に成長を感じます。そして、あこがれの年長組になつた青組は、新しい仲間も加わつて5月

には34名となり、大きくなった身体には少々手狭な部屋となりました。今年は特に、年少組など小さなお友だちをやさしくエスコートして、お話をやる姿が随所でみられます。自分より小さな存在を大切にすることや、その関わりを通して、自分自身の存在にも自信を持ち、やがて旅立つ小学校という新しい出会いの場へと、自信をもって巣立つて行つてほしいと願つています。

神さまからいただいたそれぞれの素敵なところがより一層輝くようにと、私たち保育者は皆で力を合わせ、その成長を見守りお手伝いさせていただきますと思ひます。

(織田 純代 園長)

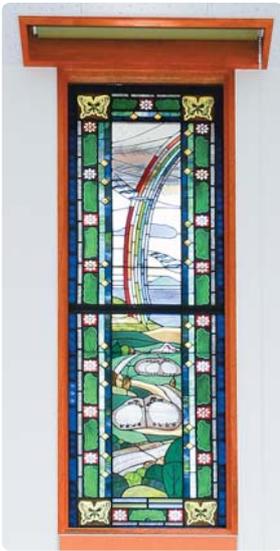
附属豊田幼稚園



幼保連携型認定こども園 スタート

柳城学院120年の歴史に新しい1ページが加わりました。2019年4月1日、名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園は、幼保連携型認定こども園に移行しました。名称に変わりはなく、これまでの園名の前に「幼保連携型認定こども園」がきます。認定こども園に移行したことにより、乳児保育の現場が柳城学院に初めて備えられたこととなります。

2017年5月に着工した工事は、旧園舎への引越しと取り壊し、



仮設園舎の建築と引越し、新園舎への引越しと園庭の整備ですべてが終了しました。実質2年余の工事期間を神さまの見守りの中で、安全に過ごせたことは、子どもたちの遊びへの工夫と保護者の皆様のご理解、教職員の努力があったものと思います。まずこれらのことに感謝したいと思います。

新装なった「なでしこホール」には、シンボルが2つあります。1つは正面にある十字架です。旧園舎のホールにあったものですが、ホール取り壊しの時に大事に

はずして太啓建設に保存されていたものです。実は取り付け方が複雑で、一時はあきらめようかと思つたほどでした。120余年の歴史を誇る柳城学院で大切にしてきた「キリスト教保育」の精神を新しいこども園でも、守り育てていこうとするシンボルとして正面から私たちを見えています。もう1つは西側に掲げられたステンドグラスです。柳城学院の歴史の中でも

今までになかった、こども園としての乳児保育の現場が与えられ、新しいチャレンジを

象徴するステンドグラスです。幼な子になぞらえたこひつじ5匹が教会と神さまを見上げています。子どもたちの個性を表す虹色は、「一人ひとりを大切に」するキリスト教保育そのものです。2つの与えられたシンボルは、これから豊田幼稚園の子どもたちとご家族、教職員そして柳城学院全体を見守り、導いてくれるものと思えます。新しい器を与えられ、今後

エピソード①

真新しい厨房での自園調理が始まりました。0〜2歳に対応する設備ですが、業務委託した「魚国」のスタッフが食事を提供してくれます。9時のおやつ、給食、午後のおやつ、延長の時のおやつ等々、幼児食も検食をする園長や主任は体重が気になることとなります。

エピソード②

園庭の新しい遊具は、雲梯（うんでい）と「クモ」と呼ばれる小ぶりのジャングルジムそしてひょうたん型の砂場です。西園庭から移設したのは鉄棒、リサイクルでお目見えしたのは古くからあつた

機関車。乳児園庭の砂場と赤い不思議な遊具「OMOCHI」は、ピカピカの新品です。卒園児の小学校高学年が、懐かしそうに機関車に乗って、得意げになっているのを微笑ましく見えています。また桜とハナミズキ、イチョウの若木を植えました。

エピソード③

満3歳〜5歳の子どもたちは幼稚園の中に「赤ちゃん」がいることに興味津々です。乳児の保育室が気になってしかたがない様子

で、列を作つてのぞきに来ています。微笑ましい姿に私たちもうれしくなりますが、しかし乳児の保育室は立ち入り禁止でのぞくだけですが。ある年長児で、「赤ちゃんがいるとうれしい」「一緒に遊びたい」と言つてくれた子がいました。園全体が「赤ちゃん」がいることで、何となく穏やかになった気がします。ベビーカーでの園庭の散歩も大変で、幼児に取り囲まれて動けなくなることもしばしばです。

(加藤 明宏 園長)





子育て支援事業

◆2歳児教室とまと組◆

お母さんと離れ、初めての集団生活を通して人との関わりや基本的な生活習慣が習得できるように楽しく生活しています。砂場やすべり



台等、戸外遊びが大好きで外に行く準備も自分で進んで行っています。

◆クローバー会◆

未就園児親子を対象とした親子触れ合い遊びの会です。親子の触れ合いの中で安心感を味わい人と関わることの楽しさも味わっています。

◆すくすくひろば◆

幼稚園の空いている部屋や園庭を就園前の親子の交流の場として開放しています。幼稚園で遊びながらお母さん同士の交流を深めています。

◆幼稚園給食試食会◆

旬の野菜をふんだんに取り入れた三大アレルゲンを抜いた温かい給食を入園前の皆様に試食して頂いています。素材そのものの美味しさを味わい、食の大切さも感じて頂いています。(毎年6月と7月に1回ずつ実施しています。)

◆満三歳児ひよこ組◆

三歳の誕生日を迎えた次の日から入園してくる園では一番小さなひよこ組のお友だち。初めてお母さんと離れて生活し始めたばかりですが、今では泣かずに登園し、日に日に色々な場面で成長を感じられています。「できた!」と自分でズボンがはけたり、タオル



とコップを自分の場所にかけることができた、一つ一つ小さなことで

◆年少◆

4月に入園した子ども達も、少しずつ園生活に慣れてお友だちと遊ぶ楽しさを感じているようです。お歌も絵本も戸外での遊びも大好きな子ども達は「先生!今日は何してあそぶの?」と、嬉しそうに聞いてきます。子ども達が家庭から離れ、初めて社会生活を送る幼稚園の中で、どんな遊びもみんなでやると楽しいと感じ、ワクワク心躍らせる体験をたくさんしてもらいたと思います。また、初めて



た、初めて

て礼拝に参加し神様と出会う子もいます。その中で神様に愛され、守られている事を知りひとりひとりが光り輝き、安心して過ごせるようにしていきたいと思っています。

◆年中◆



5月にクラスでキュウリの苗とカブの種を蒔きました。子どもたちは

興味津々で「どんな匂いがあるの?」「葉っぱがチクチクするね」「カブの種ってこんなに小さいの?」と友だちと気づいたことや発見したことを話していました。苗植えと種蒔きが終わると水やりです。これは、お当番さんのお仕事。お当番さんはジョウロに水を入れると「大きなあれ。おいしくなあれ」と心を込めて毎日水をしています。お当番さんだけでなくみんなが美味しい野菜ができるのを楽しみにしており、登園すると必ず野菜の観察をしています。そして、花が咲いたことや葉っぱが大きくなっていることなどをみて、神様からいただいた恵みに

◆年長◆

感謝し命の尊さを感じています。年長組に進級し、一段とたくもしく成長した子どもたちは、5月の終わり頃から10月の運動会で行う「組体操」に向けて、『ひみつのとつくん』をしています。『ひみつのとつくん』の内容は組体操をするのに必要な腕の力やお腹の力を鍛えることです。最初は腕の力が弱く、身体が支えられなかった子が多くいましたが、特訓を積み重ねていくうちに少しずつ力がついてきました。一人で腕の力を使って『わに歩き』をしたり、2人組で友だちと『手押し車』をしたりして日々鍛えています。特訓の中で「がんばれ!」と応援したり、「○○くんすごいね!」とお互いに認め合う姿もみられます。



子どもたちの最後まで諦めない気持ちや友だちを思いやる気持ち、大切に取り組んでいきたいと思

同窓会 News

のぞみの会 会長



鎮旗 真弓

後援会 News

後援会 会長あいさつ



下園 裕子

します。
子供たちが学校で過ごす期間が生涯にとって最も美しいものとなるよう努力して参ります。皆様のご協力を重ねてお願い申しあげまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

皆様おかわりありませんか。

便利でもあり、注意するべきことも多いSNS。私もTwitterを利用しております。もっぱら自分が観た舞台や映画、美味しいお店の感想などをつぶやいています

が、Twitterにはリツイートという機能があり、他の方の文章をコピーして拡散できますが、私はあまりむやみに拡散しないように気を付けています。なぜならその文章に責任が取れないから。私のような人間でも世界中に情報を拡散できてしまうことは、ちょっと恐ろしいことです。

それでも、美しい写真や楽しい動画、そして心に響く言葉等、できるだけ多くの人にもお届けしたい、と思つた時は拡散します。最近も、カトリックの司祭片柳弘史氏のこんな言葉を拡散しました。「バケツからあふれた水は、近くにあるへこんだ所に流れ込んでゆきます。同じように、心からあふ

れた愛は、近くにいる人の心へこみ、愛で満たされていない部分に流れ込んでゆきます。まずは、自分の心を愛で満たすことから始めましょう。」

昨今、幼い子どもが犠牲になる痛ましい事件が多く、悲しくなります。私たちそれぞれが自分の心の愛をあふれさせ、皆々が同じように愛を拡散していくことで、悲しい出来事が少しでも減っていくことを願っています。



名古屋柳城短期大学後援会長に選任されました下園と申します。平素は後援会活動にご理解ご支援を賜り皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、創立120年の歴史が続くこの素晴らしい学校に集う子供たちは「愛をもつて仕えよ」の精神にのっとり、日々大きな成長を遂げていることを嬉しく感じています。先生方のご尽力の賜物と感謝す

後援会役員 (敬称略・順不同)			
役職名	氏名	学年	委員
会長	下園 裕子	2年	委員
副会長	岡田 記代	1年	委員
幹事	坂野由紀子	2年	委員
幹事	大橋美香子	1年	委員
委員	干場 典子	2年	委員
委員	高野 寿恵	2年	委員
委員	本田 貞子	2年	委員
委員	鶴飼 直美	2年	委員
委員	岩野 千春	2年	委員
委員	倉本千寿子	2年	委員
委員	大城 瞳	1年	委員
委員	君島 久恵	1年	委員
委員	田嶋裕美子	1年	委員
委員	小川 麻希	1年	委員
委員	池尾 晴美	1年	委員
委員	伊藤 初美	1年	委員



2018年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

科目		2017年	2018年
収入の部	学生生徒等納付金収入	519,706	477,189
	手数料収入	9,499	8,283
	寄付金収入	6,997	7,956
	補助金収入	400,894	431,568
	資産売却収入	1,656	2,156
	付随事業・収益事業収入	46,325	45,157
	受取利息・配当金収入	106	102
	雑収入	7,307	12,096
	借入金等収入	0	247,000
	前受金収入	46,120	40,425
	その他の収入	26,938	174,597
	資金収入調整勘定	△ 229,203	△ 288,408
	前年度繰越支払資金	1,641,858	1,383,570
収入の部合計	2,478,208	2,541,695	
支出の部	人件費支出	529,276	579,787
	教育研究経費支出	196,190	274,492
	管理経費支出	71,610	80,799
	借入金等利息支出	333	178
	借入金等返済支出	9,270	9,270
	施設関係支出	450,240	541,581
	設備関係支出	20,588	18,135
	資産運用支出	1,200	1,200
	その他の支出	19,262	203,384
	資金支出調整勘定	△ 203,333	△ 424,264
	翌年度繰越支払資金	1,383,570	1,257,129
	支出の部合計	2,478,208	2,541,695

〔2018年度決算状況〕

- 収支の状況：学生減により、学生生徒納付金が減少し、2018年度の事業活動収入は特別収入の施設設備補助金 209,470 千円を含み、984,277 千円、事業活動支出 1,100,959 千円、基本金組入前当年度収支差額では△ 116,681 千円となった。教育活動による資金収支差額は△ 178,742 千円、事業活動による教育活動収支差額は△ 256,131 千円と共に大きくマイナスとなった。要因として、学生減他、人件費の増加、さらに附属豊田幼稚園園舎改築工事より経費部分が約 117,000 千円と膨らんだのも大きい。
繰越支払い資金は 1,257,129 千円で、資金の増減としては、短大のキャンパス整備工事・附属豊田幼稚園園舎改築 2 期工事を行った事もあり、前年比 126,440 千円の減少となった。
- 貸借対照表：総資産額は 4,625,081 千円となり前年対比 332,727 千円増加した。固定負債は、附属豊田幼稚園園舎改築資金として新たに 247,000 千円の借入をしている。流動負債は、約 400,000 千円の未払金があり 218,834 千円増加した。

〔学院：事業活動収支差額の経年変化〕

- 事業活動収入
学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入
- 事業活動支出
人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額
- 基本金組入前当年度収支差額
事業活動収入－事業活動支出
- 事業活動収支差額比率
基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。

※ 2015 年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

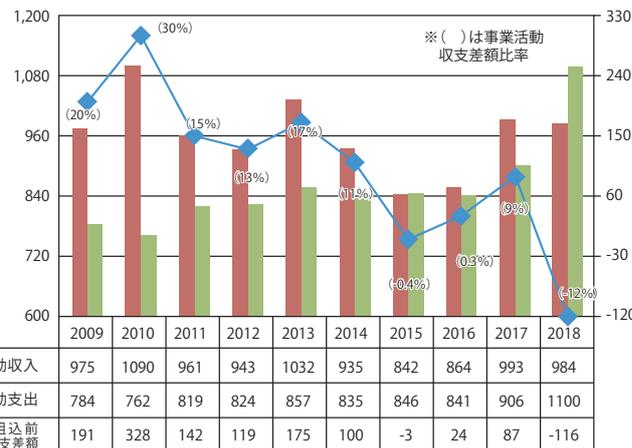
(単位：千円)

科目		2017年	2018年	
教育活動収入	学生生徒等納付金	519,706	477,189	
	手数料	9,499	8,283	
	寄付金	6,797	7,724	
	経常費等補助金	236,585	222,098	
	付随事業収入	46,325	45,157	
	雑収入	9,639	13,398	
	教育活動収入計	828,554	773,850	
	事業活動支出	人件費	529,276	577,195
		教育研究経費	273,400	365,303
		管理経費	73,868	87,483
徴収不能額等		0	0	
教育活動支出計	876,545	1,029,982		
教育活動外収入	受取利息・配当金	106	102	
	その他の教育活動外収入	0	0	
	教育活動外収入計	106	102	
	事業活動外支出	借入金等利息	333	178
その他の教育活動外支出計		0	0	
教育活動外支出計		333	178	
特別収入	資産売却差額	0	300	
	その他の特別収入	165,028	210,023	
	特別収入計	165,028	210,323	
	事業活動外支出	資産処分差額	29,972	70,797
その他の特別支出		0	0	
特別支出計		29,942	70,797	
基本金組入前当年度収支差額		86,868	△ 116,681	
基本金組入額合計		△ 263,783	△ 461,659	
当年度収支差額		△ 176,914	△ 578,341	
前年度繰越収支差額		88,355	△ 28,240	
基本金取崩額		60,318	204,938	
翌年度繰越収支差額		△ 28,240	△ 401,643	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

科目		2017年	2018年
資産の部	固定資産	2,740,393	3,125,416
	流動資産	1,551,959	1,499,664
	(内、預金)	1,383,570	1,257,129
	資産の部 合計	4,292,353	4,625,081
負債の部	固定負債	155,944	386,519
	(内、借入金)	4,830	247,000
	流動負債	264,733	483,567
	負債の部 合計	420,677	870,087
基本金の部合計		3,899,916	4,156,637
翌年度繰越収支差額		△ 28,240	△ 401,643
負債及び純資産の部合計		4,292,353	4,625,081



2018年度 就職状況

2018年度の卒業生の就職率は100%を達成することができました。保育科、専攻科保育専攻、専攻科介護福祉専攻の3学科合わせて176名が卒業・修了しました。そのうち160名が就職を希望し全員が就職することができました。

就職先の種別を見ていくと、保育・介護職で全体の約97.5%を占めました。そのほとんどが正規職員として採用されました。本学に入学する学生は多くが保育者・介護者を目指して入学します。入学後は多忙なカリキュラムの中で保育や介護の学びを深め、最終的には初心を貫き、ほとんどの学生が保育・介護職に就職していきます。一般企業のような保育以外に進む学生が少ないのが本学の特徴です。

2018年度も昨年度に続き、保育・介護職の求人数を多くいただくことができました。昨今、社会問題になってきている保育者不足を背景に、幼稚園教諭、保育士採用の求人は昨年度同様に増えています。保育現場の先生方からは「柳城は質の高い保育者を育てている。」との評価をい

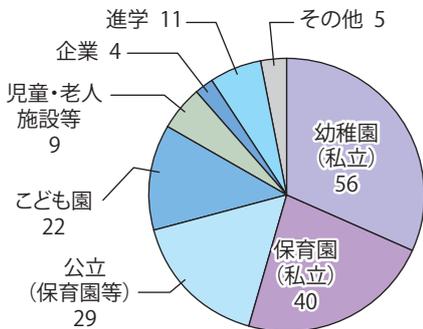
ただき、多くの園の先生方から柳城生が欲しいという声をいただいています。

少子高齢化や女性の社会進出が進む現状において、保育士、介護福祉士に対する期待はこれから益々高まっていくことと思われます。保護者や家族が安心して任せることができる質の高い保育者、介護者が今後求められます。保育・介護の仕事は実践力の向上が不可欠です。学生時代に実践力を養う力を身に付ける必要性が求められます。そのような人材を育てなければ、現場の期待に応えることが出来なくなります。自ずと大学での授業は厳しく過密なスケジュールとなります。しかし柳城の学生たちは実践力を身に付け、巣立っていくからこそ、現場から柳城生を採用したいという声をいただいているのだと思います。

先輩たちが築き上げてきた古き良き伝統をこれからの柳城生たちも身に付け、立派に成長して社会にはばたいてほしいと思っています。少しでもその力になれるように就職課一同切磋琢磨していきたいと考えています。

(就職課)

2018年度卒業生 176人



2019年3月31日現在

	卒業生数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)
保育科	158	142	100	11	5
専攻科	保育専攻	8	100	0	0
	介護福祉専攻	10	100	0	0
計	176	160	100	11	5

2019年度 入試結果

保育科一四六名、専攻科保育専攻十名の新入生が入学しました。この入学者数は本学にとって大変厳しい数字であり、本学を含めた短大保育の希望者・入学者の減少は、ここ数年で顕著に表れています結果です。

十八歳人口の減少、高校生の四大志向、そして、保育者の待遇面を含めた職場環境の問題点がマスコミ等で報道されるなど、厳しい外部環境にさらされていることも大きな要因と考えます。

これらの状況を踏まえ、新たに四年制大学の設置を申請しています(設置認可申請中)。この申請に伴い短大の定員は現在の一学年二〇〇名から一三〇名へと変更してまいります。

今まで卒業生のみなさまが築いてこられた「柳城の歴史」を絶やすことなく、新たな「柳城」を全学挙げて作り上げ、学生の確保に邁進してまいりたいと思います。

ハード・ソフトを含め学生一人ひとりの思いを受け止め、魅力ある柳城の教育環境の整備を行い、教育の質の向上に努めなければならないと強く感じています。

新たな柳城の歴史がスタートしようとする今、多くの卒業生のみなさまが築き、育ててこられた柳城の歴史と伝統に思いを寄せ、学生本位の教育や施設・設備の更なる充実を目指していきます。それが新たな柳城の歴史を作る入学生獲得に繋がると確信しています。

身近に保育・幼児教育への進学を希望される方がお見えになりましたら、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。

2020年度 入試概要

今年度の入試は、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、公募制推薦C入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、一般C入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の実施します。今年度は、公募制推薦（B・C）入試及びAO入試において二〇一九年三月卒業の過年度生の出願を認め、門戸を拡げています。

「同窓生推薦入試」においては、本学を卒業されたお方のお子様、お孫様、ごきょうだいを推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者のすべての方に対して、入学金が免除される特典があります。

また、今年度実施するすべての推薦入試合格者、AO入試合格者には、二月に実施する一般B入学試験と同日に実施する特別奨学生試験を受験することが可能です。この試験で成績優秀者には、入学金及び初年度授業料の半額を減免します。

入試に関する相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

（入試広報課）

試験区分		募集人員	出願期間	入学試験日	合格通知 発送日
推薦試験	公募制推薦A 入学試験（専願）	20	2019年10月21日（月）～11月1日（金）	11月9日（土）	11月13日（水）
	公募制推薦B 入学試験（併願）	10	2019年11月5日（火）～11月15日（金）	11月23日（土・祝）	11月27日（水）
	公募制推薦C 入学試験（併願）	5	2019年11月25日（月）～12月6日（金）	12月14日（土）	12月18日（水）
AO入学試験		20	2019年9月2日（月）～9月13日（金）	9月21日（土）	9月25日（水）
一般A入学試験		20	2020年1月8日（水）～1月24日（金）	2月2日（日）	2月6日（木）
一般B入学試験		20	2020年1月8日（水）～1月24日（金）	2月3日（月）	2月6日（木）
一般C入学試験		5	2020年2月12日（水）～2月25日（火）	3月3日（火）	3月6日（金）
特別選抜	社会人入学試験	若干名	2020年1月8日（水）～1月24日（金）	2月2日（日）	2月6日（木）
	帰国生徒入学試験 私費外国人留学生入学試験	若干名	2020年1月8日（水）～1月24日（金）	2月2日（日）	2月6日（木）
	指定校推薦入学試験	30	2019年10月28日（月）～11月8日（金）	11月16日（土）	11月20日（水）
特別推薦	キリスト教会 推薦入学試験	若干名	2019年11月5日（火）～11月15日（金）	11月23日（土・祝）	11月27日（水）
	同窓生推薦入学試験	若干名	2019年11月5日（火）～11月15日（金）	11月23日（土・祝）	11月27日（水）

学院人事

〔退職〕
2018年6月30日付
〔豊田幼稚園〕
教諭 小野田陽子（特任）
教諭 原田 真緒
2019年3月31日付
〔法人〕
職員 松本 勝
〔短大〕
准教授 松下 明生
〔柳城幼稚園〕
教諭 海川 皓代
〔豊田幼稚園〕
副園長 岡野 尚子
教諭 佐野千亜希
〔三好丘聖マリアレット幼稚園〕
教諭 神山 晃穂
教諭 堀 由香
〔採用〕
2018年6月1日付
〔豊田幼稚園〕
教諭 植野 真梨
2019年1月1日付
〔豊田幼稚園〕
教諭 西田恵二郎
2019年4月1日付
〔法人〕
職員 佐溝 ゆか
〔柳城幼稚園〕
教諭 黒岩 茉由
教諭 吉田 汐里
〔豊田幼稚園〕
教諭 小林 千織
教諭 齋藤 萌由
教諭 杉本 智子
教諭 鈴木 愛理
教諭 谷脇 由美

教諭 原田 愛子
教諭 増田 美月
教諭 山口智恵子
教諭 栗田 彩子（特任）
教諭 高橋 真奈（特任）
〔三好丘聖マリアレット幼稚園〕
教諭 土池明日香
〔兼任〕
2019年4月1日付
〔法人〕
法人事務局長（短大事務局長兼務） 山本 將
法人事務局長 高橋 達也
入試広報課長 佐藤 章裕
〔短大〕
教学部長（学生支援課長兼務） 大澤 弘毅
総務部長（総務課長兼務） 岩田 牧夫
理事・監事・評議員
2019年5月27日付
理事長 渋澤 一郎
理事 菊地 伸二
中尾 志朗
成田 朋子
長縄 年延
日野 忠市
平松ちづ代
山本 將
顧問 池田 正毅
新海 英行
監事 伊藤 秀章
塚田 一宣
岡田 記代
織田 純代
加藤 明宏
菊地 伸二
鎮旗 真弓
渋澤 一郎
下園 裕子
下原 太介
中尾 志朗
長縄 年延
成田 朋子
日野 忠市
平松ちづ代
鬢柳久美子
宮澤 俊夫
諸岡 研史
山本 將

新任教職員紹介

就任にあたっての抱負

短期大学

◆入試広報課



佐溝 ゆか

今年度から名古屋柳城短期大学に正規職員として勤めさせていただきます。私が柳城を卒業してから5年が経ちましたが、昔と変わらず温かく迎えてくださる教職員の方々、元氣いっぱいの子学生たちになんだか懐かしい気持ちになりました。

私の経験してきたことが学生の力になれるよう、またお世話になった柳城に少しでも恩返しができるように、初心の気持ちを忘れず、一步一步成長していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

附属幼稚園

◆三好丘聖マーガレット幼稚園



教諭 土池明日香

前職ではこども園で乳児の担当をしていましたが、この園に招かれ憧れだった園バスにも乗ることができ、毎日のしくし過ごしています。初めての幼稚園勤務で慣れないことも多々ありますが、年少組の子どもたちと一緒に楽しみながら成長していきたいと思っております。よろしくお願致します。

◆豊田幼稚園



教諭 栗田 彩子

柳城を卒業後、豊田幼稚園の専任教諭、臨時職員を経て、今年度からは特任教諭として勤めさせていただきますことになりました。これまでたくさんの方と出会い多くの学びの時をいただいたことに感謝の気持ちを持って、これからの豊田幼稚園のために保育に携わっていきたくと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

◆豊田幼稚園



教諭 山口智恵子

今年度より柳城豊田幼稚園に勤めさせていただきます山口智恵子と申します。新しく認定こども園に変わり一番小さな0、1歳児クラスの担任となり日々子どもの成長を感じながら保育できることに感謝し一日一日を大切にがんばっていきたくと思っています。よろしくお願致します。

◆豊田幼稚園



教諭 小林 千織

3月に柳城短大を卒業し、4月から柳城豊田幼稚園で勤めさせていただきます。私が短大1年生の頃の実習で、豊田幼稚園の教職員の方に温かく迎えていただき、キリスト教保育の大切さ、温かみを感じ、豊田幼稚園で働きたいと学生の頃から思っていました。まずは1年、年少副担任として自分出来る事、子供たちの笑顔を支えに日々努力し、成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

◆豊田幼稚園



教諭 植野 真梨

今年度より、縁あってこちらの柳城豊田幼稚園で勤めさせていただきます。元氣いっぱい、個性豊かな子どもたちに囲まれ日々を楽しく過ごしております。

キリスト教保育という愛にあふれた環境の中に身をおけることをうれしく感じるとともに、子どもたちを尊敬し、愛をもって接することを大切にしながら引き続き成長を見守っていきたくと思っております。どうぞよろしくお願致します。

◆豊田幼稚園



教諭 杉本 智子

今年度まで臨時職員勤務をさせて頂いていましたが、今年度より認定こども園に生まれ変わった豊田幼稚園に専任教員として乳児クラスを受け持つ事になりました。子ども達の笑顔の囲まれながら日々愛情のこもった保育をしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

◆豊田幼稚園

今年度より柳城豊田幼稚園でお世話になる事となりました。温かい職場の皆様を支えて頂きながら、感謝の気持ちを忘れずに知識や見



識を広め 保育に生かしていきたいと思っております。子どもたちが「幼稚園大好き！早く幼稚園に行きたい」と毎日、朝が来ることを楽しみにできるような学級経営をしていきたいです。一人ひとりの子どもたちにたくさん愛情を注ぎ教育理念である、愛の心に溢れた人を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

今年度から新しく柳城豊田幼稚園に勤めさせていただきますことになりました。鈴木愛理と申します。元氣いっぱいな年少組の子どもたちと沢山の「楽しい！」や「面白い！」の気持ちを共有していきたいです。子どもたちにとって幼稚園が大好きな場所になるよう、笑顔を忘れずに頑張ります。よろしくお願致します。

◆豊田幼稚園



教諭 鈴木 愛理

今年度より柳城豊田幼稚園に勤めさせていただきますことになりました。齋藤萌由と申します。新社会人となり、毎日大変ながらも先輩方から保育について教えていただき元氣いっぱいの子どもたちと充実した毎日を送っております。名古屋柳城短期大学で学んだ2年間を活かし、日々精進してまいります。そして、キリスト教を通して子どもたちと共に心

◆豊田幼稚園



教諭 齋藤 萌由

今年度より柳城豊田幼稚園に勤めさせていただきますことになりました。齋藤萌由と申します。新社会人となり、毎日大変ながらも先輩方から保育について教えていただき元氣いっぱいの子どもたちと充実した毎日を送っております。名古屋柳城短期大学で学んだ2年間を活かし、日々精進してまいります。そして、キリスト教を通して子どもたちと共に心

◆豊田幼稚園



教諭 高橋 真奈

豊田幼稚園に臨時職員として復帰してから17年。今年度は特任という立場で勤めさせて頂くことになりました。柳城で学んだ『愛をもって伝えよ』の精神を忘れず、子ども達と一緒に過ごせることに感謝して頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

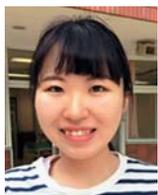
◆柳城幼稚園



教諭 吉田 汐里

今年度より新しく柳城幼稚園に勤めさせて頂くことになりました。吉田汐里です。4月から満三歳クラスの担任になり、子どもたちと毎日新しい発見をしながら日々を過ごしております。子どもたち一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせるような保育ができるよう心掛けていきます。

◆柳城幼稚園



教諭 黒岩 茉由

保育科、保育専攻科と4年間学び慣れ親しんだ本学の附属、柳城幼稚園で今年度より教諭としてお世話になることを大変光栄に思います。先生方のように、子どものありのままの姿を受け止め、一人ひとりが輝けるような保育ができるよう、日々学び続けていきたいと思っております。



マーガレット・
ヤング基金

引き続き温かいご支援を

お願いいたします



2011年に開始したマーガレット・ヤング基金には皆様からの多大なご協力をいただき感謝申し上げます。今までに募金いただいた件数は延べ617件。募金金額は10,809,495円となりました。この用途については当初より、奨学資金充実、特別活動支援、教育研究環境整備と定めておりましたが、2018年度より短大の学生を対象として「マーガレット・ヤング奨学金」制度を開始いたしました。2018年度は5名、2019年度は8名が給付を受けました。今後、給付制度拡大を検討しており、新設する4年制大学も対象としていきます。皆様から頂いた大切な基金は今後も有効に使わせていただきます。引き続き温かいご支援をお願いいたします。

(法人事務局)

収支報告

	項 目	(円)	備 考
収 入	総 額	10,728,915	(募金金額) - (手数料)
支 出	給付奨学金	1,560,000	2018、2019年度計
残 高		9,168,915	

2011年12月～2019年5月に募金いただいた方

(敬称略)

小栗登紀子、植松頌、箕浦真奈、太田玲子、鈴木弘子、市野恵子、渡邊信子、竹田守孝、尾崎正子、山本久子、森本妙子、中野早苗、赤津綾子、森井松代、相澤コウ、野田英子、伊藤もえ、岡田五百子、水野禮子、垣内久子、坂上玲子、伊佐時子、濱崎直子、寺田勝利、藤田法子、明石智子、鈴木あや、佐伯典子、神谷すま子、小島千恵子、渡辺信子、岩橋廣子、澤井千里、川瀬慶子、橋本珠子、井原洋子、鈴木恭子、菅原美恵子、沼田章子、御子柴芳子、近藤マリ子、吉田正子、岩井勇児、森真知子、稲熊美保子、松原佑果、加藤敦子、野田文子、若木朋子、牧村光晃、三崎加奈子、阪野詩織、千田梨詠、朝隈里菜、山田朗子、徳山義章、森智恵子、塚田一宣、西川万央、齋紀子、黒宮詩乃、嬉野佐代子、小玉雅美、河口喜子、近藤富士江、平松ちづ代、朱宮節子、野村潔、小池洋子、若松雅実千、芳村聡、森義裕、古橋よしえ、村上誠、朝倉三枝子、加古正弘、加古瞳美、宇田照子、阿部力治、西岡フサ子、金澤啓子、大和田康司、重松うた子、鈴木裕子、小林麻里奈、山本千恵子、榎戸裕子、伊藤九子、加藤依、今野志のぶ、塚本留夫、大木聖、村田康常、松本勝、瀬木美輝子、松本千寿子、菊川麻里絵、鷹尾理恵子、尾関英里香、青山道、松永恵理子、田坂和、野々宮徹、柳川瀬崇、小松伯子、田浦武雄、米本倉基、村木美優、平田道子、植村雫久、舞田恵理、岡本真依、蟻塚和子、白倉春子、種市史良、長谷川ゆかり、菊地伸二、宮嶋賢一、斎藤修磨、斎藤碧子、関俣子、森野真之、野々垣文成、加藤眞理子、舟藤恵子、三宅慶治、広瀬佳世、筒井美代、佐久間弥栄子、山口稔、鎌倉寿子、大崎千秋、横井志保、岡島洋一郎、渋谷博子、渋谷一郎、尾上明子、五十嵐早希子、北川三和子、辻憲子、水野嘉子、鈴木はる美、山本直樹、赤川眞理子、金沢克子、織田純代、大里静子、古口友香、成田朋子、太田千枝、大西信子、裏節子、中山京子、幸野貴久枝、古賀真知子、藤原玉枝、辰巳芳子、坂井瑩子、梅本映子、原幸平、大野史保子、植松從爾、日比野和子、佐々木宏江、藤眞沙子、福井まり恵、白井仕、永良千秋、佐藤文子、重田万千子、高桑ゆう子、柴田幸、種市章、種市雅也、石野珠子、田村満紀子、芳賀郁美、鶴飼郁子、柏井英子、塚本秀子、齋藤祐子、寺本敦子、篠原由喜子、坂根茂乃、大澤弘毅、池田正毅、後藤喜恵、小野直枝、芹澤例子、大矢道子、青木洋子、宮坂和子、中森道子、林梅子、橋爪久美子、重実史子、鈴木美智子、遠藤弘子、安田寛子、轟節子、森田千夏、水山進吾、梶田正人、中井由宇子、岩田牧夫、岩田朋子、大西憲子、竹田昌子、日野忠市、米澤國吉、相澤晃、加藤孝子、1961年度卒業生有志、田口修、原あや香、曾根千晶、安藤節子、小池妙子、金子恵里花、金子明恵、井戸田みほ、加藤里菜、宮田松子、星野美千代、杉野美香、橋本莉乃、前崎初子、水谷絵里、山本節子、加藤歌子、末長怜奈、植松從爾、森紀旦、江夏一彰、阿部久子、牧岡恒夫、西端栄子、神田侑希、中村泰之、真部一、杉下有紀、加藤正美、種市淳子、愛知聖ルカ教会、林田明子、松本忠雄、森清香、工藤雅子、箕輪淳子、菅悠里、片岡紀子、間瀬治代、日向宗教、知念和子、野々垣嘉男、榎原奈々音、浅井充夫、西尾唯叶、浅井紀子、加藤明宏、小林祥子、加古満枝、横地優梨亜、長縄年延、若原扶美江、浅田春美、岩田美帆、堀内麻衣、相良栄治、坂野弘一、西村梨沙、深谷二千香、水落洋志、真部克美、熊谷智美、先田辰子、奥田道子、倉本俊洋、河合幹男、長江義子、大島栄、1977年度卒業生一同、他 匿名希望 80名

2019オープンキャンパス情報

見て・聞いて・話して・感じてください 柳城を!!

8月24日(土)*10時30分~14時30分で開催します。なお、11月3日(日・祝)は、10時~15時で開催します。内容は、公募制推薦入試説明会、個別相談会のみですが、柳城祭と同時開催で行いますので、1日柳城で楽しく過ごしていただきたいと思います。卒業生の皆様も是非お越しください。

2019年オープンキャンパスの今後の予定は左記のとおりです。柳城の紹介、学生による発表、保育模擬講義、保育実技体験、施設自由見学、柳城生と気軽にしゃべりましょう!など様々なプログラムで高校生をお迎えします。学食「キッチンはらぺこ」で無料ランチ体験も実施します。卒業生の皆様からもお知り合いに保育・幼児教育に関心のある高校生がいらっしゃいましたら、参加をお勧めいただければ幸いです。

8月24日(土)

10:30~14:30

11月3日(日・祝)

10:00~15:00



12月14日(土)

16:00~18:00

柳城幼稚園

〈園行事〉

9月 2日(月) 願書配布開始

7日(土) 入園説明会 10:00~
入園希望者に向けて、保育の特徴や入園に関する情報を提供する。

10月 1日(火) 7:30~入園願書受付

10月19日(土) 8:40~12:00頃
運動会主税町公園にて

29日(火) 創立120周年記念礼拝

11月 9日(土) 秋まつり

〈子育て支援情報〉

■ マミークラス

月に1回程度 10:00~11:00
2歳までのお子さんとお母さんの憩いの場
無料/電話予約

■ たんぽぽ組

月に1~2回程度 10:00~11:30
2歳から就園までのお子さんとお母さんの集いの場
無料/電話予約

■ ちゅうりっぷ組

週に2日 9:00~11:30
火・木コース/水・金コース
2歳から就園までのお子さんのクラス
10名定員

上記の3つのクラスで未就園児のお子さんとお母さんの子育てを応援しています。

豊田幼稚園

〈園行事〉

■ 運動会 10月12日(土) 雨天順延
会 場: 幼稚園園庭

■ 柳城こどもまつり 10月26日(土) 雨天決行
会 場: 園舎&園庭

〈入園を考えている方のための幼稚園見学説明会〉

■ 第1回 9月5日(木) 9:30~11:00
(9:30~10:00は自由見学)
■ 第2回 9月7日(土) 13:30~14:30

〈2020年度入園願書配布開始〉
2019年9月2日(月)より

〈2020年度入園願書受付開始〉
2019年10月1日(火)より(満3歳~5歳児)
☆0歳~2歳児の受付・書類配布は10月中旬頃開始

〈子育て支援情報〉

■ あそびば
原則として毎週木・金曜日 16:00~17:30
地域に開かれたあそびばです。

■ にじいろひろば
原則として毎週月・金曜日 10:45~11:45
未就園児の親子に園を開放

■ はぐくみ
月に1回程度①10:00~②11:00~
園長・主任・ベテラン教員が相談をお聞きします。
実施日: 7/18(木)、9/10(火)、10/9(水)
11/12(火)、12/9(月)、1/8(水)、
2/7(金)、3/12(木)

附属幼稚園情報

三好丘聖マーガレット幼稚園

〈園行事〉

■ 夏祭り会 8月10日(土)
13時~、15:15~の2部制
会 場: 園舎&園庭

■ 運動会 10月5日(土)
予備日: 10月6日(日)
会 場: 幼稚園園庭

〈2020年度入園案内〉

入園願書配布: 9月2日(月)より
入園説明会: 9月14日(土) 10:00~
入園願書受付: 10月1日(火)より

〈子育て支援情報〉

■ クローバー会
月に1回程度 10:30~11:20
2歳児を対象に親子で遊びます
無料/電話予約

■ すくすくひろば
月に1回程度 10:00~11:30
0歳児から未就園の親子を対象に保育室や園庭を開放します
無料

〈親子参加型講演会〉

■ すくすくひろば「親子たいそうの会」
9月20日(金) 10:00~11:30
講師を招いてのミニ講演会 & ベビーマッサージ
内 容: 「ふれあい遊びの中で育まれるもの」
未就園児親子対象/無料/電話予約



ウェブ上で学院報のバックナンバーがご覧いただけます。「柳城学院報」で検索をお願いします。

